

報告事項(2) 令和2年度事業計画並びに収支予算について

令和2年度事業計画書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

基本方針

森林は、水源かん養機能、災害防止機能、二酸化炭素吸収機能、生物多様性保全機能などの公益的機能を持つ「県民共通の財産」である。

しかしながら、採算性の悪い森林などにおいては、適正な管理が行われず、森林の公益的機能の発揮に支障を来している。

今後、スギ・ヒノキ人工林及び広葉樹林において、適正な森林施業の実施を促し、森林が本来有する機能の回復に努めることが重要である。

このため、国・県が実施する森林整備への支援に加え、当協会においては、「緑の募金」運動によって得られた貴重な財源等を活用して、次の取組によって森林の適正な管理の促進を図るとともに、県民に対して「森の大切さ」「森の整備の重要性」に係る普及啓発活動を促進していく。

1 緑と水の森林ファンド助成事業

- (1) 10月最終日曜日前後の「ひょうご森の日」関連イベント等における普及啓発
- (2) 次代を担う「緑の少年団」の森林環境学習への支援

2 地域活動への助成

緑の募金を財源にした市町独自の取組(森づくり普及啓発、地域緑化の推進)

3 ゴルファー協力金による緑化

(公社)ゴルフ緑化促進会の助成による学校・公園等の緑化

4 森林ボランティア活動支援

森林ボランティアによる森林整備活動への支援

5 森林学習体験支援・緑の少年団活動支援

緑の少年団の森林学習活動への支援

6 ふるさとの巨樹保存

地域のシンボリックな文化財等として親しまれている巨樹の保存支援

実施計画

I 森林整備・緑化推進事業計画（緑の募金事業に係るものを除く）

1 緑と水の森林ファンド事業（公益社団法人国土緑化推進機構の助成事業）

(1) 地域緑化イベント等の開催

森の大切さや木の良さを実感し、木材を利用することが森林整備につながることを理解してもらうため、「ひょうご森の日」におけるイベントや「木材フェア」の実施に対して助成する。

ア 時期	令和2年7月から令和3年3月まで
イ 場所	県内2か所
ウ 助成対象者	森林林業関係団体等
エ 助成額	400,000円

(2) 緑の少年団活動助成事業

自然体験学習・社会奉仕・レクリエーション活動を通じて心豊かな人間性を持つ社会人を育成することを目指し、緑の少年団の育成や活動の充実に取り組む「兵庫県緑の少年団連盟」の活動に対して助成する。

ア 時期	令和2年7月から令和3年3月まで
イ 場所	県内一円
ウ 助成対象者	兵庫県緑の少年団連盟
エ 助成額	2,540,000円

2 森林保全活動支援事業

(1) ゴルファー協力金による緑化事業（公益社団法人ゴルフ緑化促進会の助成事業）

上記の促進会会員の県内ゴルフ場におけるゴルファーからの緑化募金をもとに、学校・公園等の公的施設の緑化を進める活動に対して助成する。

ア 時期	令和2年4月から令和2年8月まで
イ 場所	県内1か所
ウ 助成対象者	学校・公園等の公共施設
エ 助成額	200,000円

(関連事業)

(1) 子供たちの未来の森づくり事業（公益社団法人国土緑化推進機構の助成事業）

小学生・中学生の「森の学び」（森林環境教育）のフィールドとして未来に引き継ぐ「地域のシンボルとなる森づくり」と当該フィールド内での教育・体験活動に対して助成する

ア 場所	県内1か所
イ 助成対象者	森林ボランティア団体等
ウ 助成額	200,000円

(2) 学校林を活用した森林環境教育促進事業（公益社団法人国土緑化推進機構の助成事業）

学校林を保有しながら森林環境教育活動が十分にできない学校現場に対して、地域の活動指導団体等と連携した森林環境教育実施体制を構築することを目的に、森林体験活動や教室での学習を行う活動に対して助成する。

ア 場 所	県内1か所
イ 助成対象者	活動指導団体等
ウ 助 成 額	300,000 円

(3) 学校環境緑化モデル事業（公益社団法人国土緑化推進機構の助成事業）

校庭や花壇等の学校敷地内での緑化活動を通じて子どもたちの自然とのふれあいを推進するため、学校関係団体が行う緑化事業に対して助成する。

ア 場 所	県内1か所
イ 助成対象者	小学校
ウ 助 成 額	500,000 円

3 企業の森づくり活動事業

環境保全に関心の高い企業や団体等が、社会貢献の一環として、森林所有者に代わり森林の整備・保全を行う「企業の森づくり」を促進する。

このため、本協会は、企業や団体等が森づくり活動を行う際の活動計画策定の助言や提案、活動フィールドの斡旋などを積極的に行う。

(1) 協定締結状況

企業・団体名	協定年度	活動地	面積 (ha)
生活協同組合コープこうべ	20	西宮市越水字社家郷山	18.0
(株)東芝	20	宍粟市波賀町上野字上東山 ※	36.0
コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)	20	小野市黍田町高山、臼谷 ※	10.0
川崎重工業(株)	20	多可町八千代区大和西谷他 ※	14.0
関西電力労働組合	22	三木市細川町榎山 ※	1.0
富士ゼロックス兵庫(株)	22	神戸市北区大沢町神付	1.0
サントリーホールディングス(株)	22	西脇市黒田庄町門柳	1,053.0
グローリー(株)	23	姫路市夢前町菅生潤	40.0
(社)神戸経済同友会	23	神戸市北区山田町下谷上 ※	3.0
黒田電気(株)	23	川西市黒川	1.0
旭硝子(株)高砂工場	23	加東市上久米 ※	1.0
全神戸製鋼労働組合連合会・(株)神戸製鋼所	23	三木市細川町榎山 ※	2.0
(株)チュチュアンナ	24	川西市黒川 ※	1.0
(株)カネカ高砂工業所	24	多可町八千代区大和東谷	1.0
三菱日立パワーシステムズ(株)高砂工場	24	高砂市阿弥陀町阿弥陀 ※	1.0
シスメックス(株)	24	小野市河合西町	2.0
(株)TIENS JAPAN	24	宝塚市境野字保与谷	1.3
関西電気工事工業協同組合	25	加古川市平荘町 ※	2.0

企業・団体名	協定 年度	活動地	面積 (ha)
住友ゴム工業(株)加古川工場	25	高砂市阿弥陀町阿弥陀	0.3
川崎重工業(株)	26	多可町中区牧野	7.2
虹技(株)	28	姫路市夢前町寺	1.0
全神戸製鋼労働組合連合会・(株)神戸製鋼所	28	三木市福井	5.0
関西電力労働組合	28	加西市笹倉町	8.5
大阪ソーダ労働組合	28	加東市上久米	6.0
三菱電機(株)高周波光デバイス製作所	29	加東市上久米	1.0
(株)日本海水	29	宍粟市山崎町上比地	3.0
日立建機(株)	30	三木市福井	1.2
川崎重工業(株)	30	小野市黍田町高山、臼谷	10.0
コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)	元	丹波篠山市川原、畑	655.0
計		29箇所 (※印は終了地)	1,886.5

(2) 令和2年度 新規取組目標 3企業・団体

4 機関誌の発行

「緑の募金」の実績、募金の使途、地域の緑化事業の状況等について、広く会員、県民等に対して情報提供するために毎年度2回発行する。

ア 発行月 9月(秋季号)、3月(春季号)

イ 発行部数 2,000部

5 「ひょうご森づくり活動賞」の表彰

県民の緑化思想の高揚を図って森づくり活動への参加を促進するため、県内において森づくり活動を継続的に実施し、その内容が他の模範となる率先的な団体を表彰する。

II 緑の募金事業計画

1 「緑の募金」活動推進事業

- (1) 募金目標額 50,000,000 円
- (2) 重点推進期間 令和2年3月1日から令和2年5月31日まで〔春季〕
令和2年9月1日から令和2年10月31日まで〔秋季〕
- (3) 場 所 県内一円
- (4) 募金方法 家庭募金、学校募金、職場募金、団体募金、企業募金、街頭募金等
- (5) 募金の使途 県民へ森林整備や緑化の重要性、「緑の募金」の意義などについて情報提供を行うとともに、県民の森と緑とのふれあいを進めるため、森林保全活動、森林学習体験活動及びふるさとの巨樹保存等に関する事業費に充てる。また、地域緑化の推進を積極的に図るため、市町緑化推進委員会等に対し地域活動助成金を交付する。
- (6) 団体等の表彰 募金活動及び緑化事業等に積極的に取り組み、その活動に顕著な功績があった市町緑化推進委員会等に対し、「緑の募金」活動優秀団体等表彰を行うものとする。

2 森と緑とのふれあい支援事業

(1) 森林保全活動支援事業

ア 森林ボランティア活動支援事業

県民が参加する森林保全活動や森づくりイベントの開催経費を助成する。

- (ア) 時 期 令和2年4月から令和3年2月まで
- (イ) 場 所 県内8か所
- (ウ) 助成対象者 森林ボランティア団体、自治会等7団体
- (エ) 助 成 額 1,040,000 円

イ 森林利活用情報提供事業

森に親しみ、多様な森林の利活用を進めるための広報・案内などの情報提供に要する経費を助成する。

- (ア) 時 期 令和2年4月から令和3年2月まで
- (イ) 場 所 県内7か所
- (ウ) 助成対象者 森林ボランティア団体、市町等7団体
- (エ) 助 成 額 1,660,000 円

(2) 森林学習体験活動支援事業

ア 森林学習体験支援事業

次代を担う子どもたちを主体に森林学習体験活動を行うために、必要な材料費、指導費等を助成する。

- | | |
|-----------|-----------------------|
| (ア) 時 期 | 令和2年4月から令和3年2月まで |
| (イ) 場 所 | 県内5か所 |
| (ウ) 助成対象者 | 森林ボランティア団体、自治会、市町等7団体 |
| (エ) 助 成 額 | 1,101,000円 |

イ 緑の少年団活動支援事業

緑の少年団の新たな結成、森林学習体験活動を行うために必要な教材の作成等に要する経費を助成する。

- | | |
|-----------|------------------|
| (ア) 時 期 | 令和2年4月から令和3年2月まで |
| (イ) 場 所 | 県内一円 |
| (ウ) 助成対象者 | 兵庫県緑の少年団連盟 |
| (エ) 助 成 額 | 1,820,000円 |

(3) ふるさとの巨樹保存事業

古くから地域の人々に親しまれ、地域のシンボルとなっている巨樹巨木の樹勢回復を図るため、樹木の診断や治療に要する経費を助成する。

- | | |
|-----------|------------------|
| (ア) 時 期 | 令和2年4月から令和3年2月まで |
| (イ) 場 所 | 県内4か所 |
| (ウ) 助成対象者 | 自治会等9団体 |
| (エ) 助 成 額 | 1,400,000円 |

注記

- ①「森と緑とのふれあい支援事業」は、県内の森林ボランティア団体等が取り組む森林保全活動や森林学習体験活動、巨樹保存活動等のうち、地域へ公益をもたらし、かつ先駆性、モデル性を有するものを採択し支援を行う。
- ②「緑の募金」活用の有効性と公平性の確保に配慮しつつ、協会事業への寄与度合(各市町の「緑の募金」実績額及び会費)にも留意し採択する。
また、このことも併せて「緑の募金」のさらなる拡大につなげていく。

3 緑の募金交付事業

(1) 中央交付金

緑の募金中央団体である（公社）国土緑化推進機構が行う全国規模での緑化事業に要する経費を交付する。

- (ア) 交付対象者 (公社) 国土緑化推進機構
(イ) 交付額 2,000,000 円

(2) 地域活動助成金

市町緑化推進委員会等が自ら行う事業及び市町緑化推進委員会等が交付金の交付を受けて事業を行う者に対して助成するために要する経費を交付する。

- (ア) 交付対象者 市町緑化推進委員会等
(イ) 交付額 23,000,000 円

注記

「地域活動助成金」は、市町緑化推進委員会等が市町内の森林の整備、地域の緑化の促進、並びに市民・町民への緑化思想の普及啓発を目的に企画・実施する事業に対して、市町緑化推進委員会等が募った募金実績額の50%以内を交付する。

4 「ひょうご森のまつり」共催事業

県民の一人ひとりが緑豊かな自然の恩恵に感謝するとともに、森の緑に親しみ、学び、ふれあう場となる「ひょうご森のまつり」を県、開催市町と共同で開催する。

- (ア) 時期 令和2年11月14日（土）〔予定〕
(イ) 場所 丹波篠山市内
(ウ) 参加者 一般県民、緑の少年団、森林ボランティア等
(エ) 負担額 5,000,000 円

5 緑化作品コンクールの実施

次代を担う児童・生徒の緑化思想の高揚を図るため、（公社）国土緑化推進機構主催の国土緑化運動・育樹運動ポスター原画及び標語の募集に呼応し、小中学校及び高等学校の児童・生徒を対象に緑化作品の募集を行い、コンクールを実施する。

- ・緑化ポスターコンクール
- ・緑化標語コンクール

6 「緑の募金」の輪拡大のための重点推進事業

「緑の募金」の取組の輪を広げ、県民・団体・企業等の自発的活動のもとでの森づくりや地域緑化を一層推し進めるため、市町緑化推進委員会及び地域緑化推進連絡協議会との連携強化を図る。

その上で、県民・団体・企業等に対する家庭募金、学校募金、職場募金、団体募金、企業募金への呼び掛けについて、企業の勉強会に出向いた依頼など、対象者の実情に応じた内容を明確化し具体的かつ重点的に取り組んでいく。

